

結核を減らすために



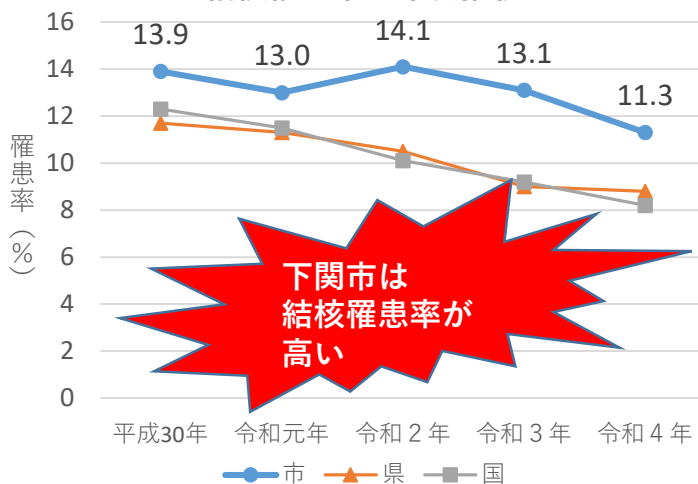
下関市の結核の現状



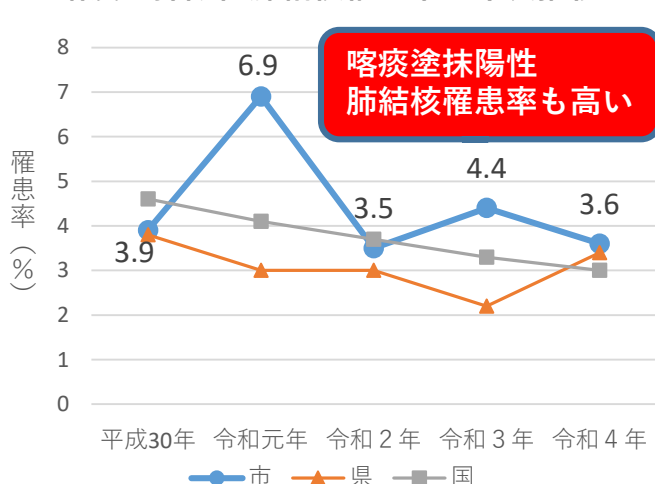
～結核は過去の病ではありません！～

山口県内では年間100人以上、下関市内では年間約40人前後の新規の結核患者が発生しています。下関市における結核罹患率※は減少傾向にはありますが、全国や山口県と比較すると、依然高い状況です。（※新登録結核患者数 ÷ 人口 × 10万）
 また、喀痰塗抹陽性肺結核罹患率※についても、全国や山口県と比較して、下関市は高い状況にあります。（※喀痰塗抹陽性：喀痰の塗抹染色検査で陽性と判定されたもの = 排菌者）
 （※喀痰塗抹陽性肺結核患者 ÷ 人口 × 10万）

結核罹患率の年次推移



喀痰塗抹陽性肺結核罹患率の年次推移



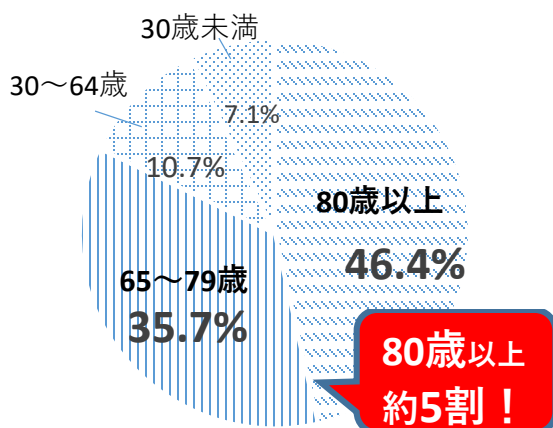
～80歳以上に多い結核！～



下関市で令和4年に発生した結核患者の年齢構成は、65歳以上が8割を占めています。

特に、80歳以上の高齢者が多く、患者の約半数を占めています。

新登録結核患者の年齢構成(令和4年)

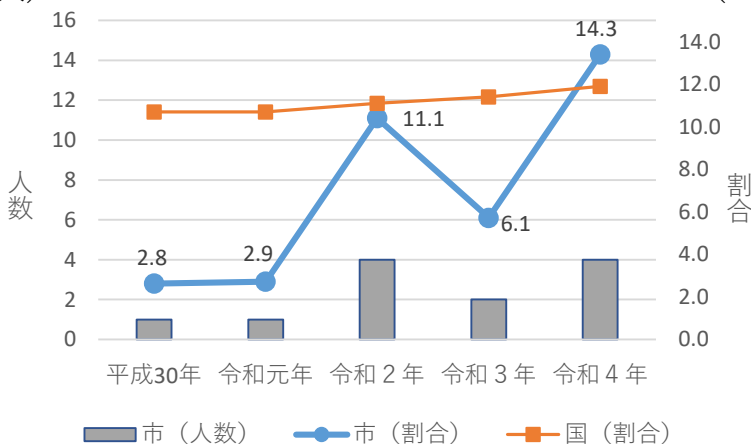


～外国出生者の結核～



新登録結核患者のうち外国出生者の割合は全国的に増加傾向にあり、下関市においても、割合としては増加傾向にあります。20～30歳代の結核患者は、外国出生者が約半数を占めています。罹患率の高い国の出生者が日本滞在中に発症するケースが見受けられます。

(人) 新登録結核患者に占める外国出生者の年次推移 (割合)



①結核ってどんな病気？

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。

症状

結核を発病すると、咳や痰、発熱など風邪によく似た症状が出ます。

個人差があり、典型的な症状が出ない場合もあります。

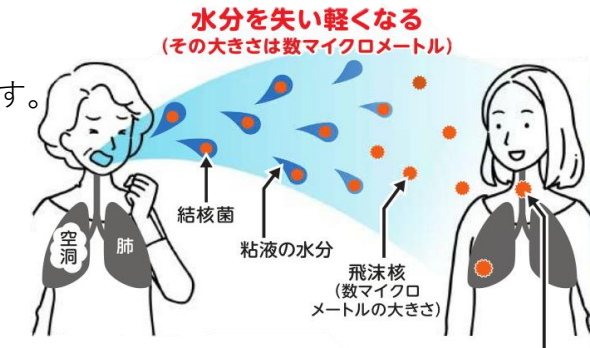
下記のいずれかに当てはまる場合は早めに受診しましょう。

- 咳や痰が2週間以上続く
- 体がだるい
- 食欲低下
- 体重減少
- 微熱

結核の「感染」と「発病」

結核菌を吸い込んでも鼻やのどで追い出すと感染しません。感染は、菌が体の中にたどり着き、そこで増殖してはじめて起こります。結核に感染しても必ず発病するわけではなく、通常は免疫力が結核菌の増殖を抑え込みます。増殖を抑えきれなくなると、結核を発病します（結核菌に感染して発病する確率は10%です）。

感染経路



出典：結核の常識2023

鼻やのど、気管でもある程度防げる

結核（肺）を発病している人が、咳やくしゃみをするにより、空気中に飛び散った結核菌を周りの人が吸い込むことで感染します。

治療

結核と診断されても、複数の薬を6か月～9か月間毎日きちんと飲めば治ります。しかし、症状がなくなったからといって途中で服薬をやめると、菌が抵抗力をつけ、薬が効かない結核菌になる可能性があるため、医師の指示に従って治療を受けましょう。

②市民の皆様をお願いしたいこと

結核を予防するために

1歳未満の子どもは、BCG接種が有効です。

健康的な生活が免疫力を高め、結核の予防につながります。以下のことを心がけましょう。

- バランスのいい食事
- 十分な睡眠、休息
- 適度な運動
- ストレスをためない
- タバコを吸わない



シールちゃん

結核の早期発見・早期治療のために

☆症状があれば早めに受診しましょう

結核は初期の症状が風邪と似ています。

せき、タン、発熱、体がだるい、急に体重が減ったなどの症状が2週間以上続く場合は、できるだけ早く医療機関を受診しましょう。

☆定期的に健康診断を受けましょう

年に1回は胸部エックス線検査を受けましょう。

また、健診の結果、精密検査が必要な場合は、早急に受診しましょう。

65歳以上の方は、法律で年に1回結核健康診断を受ける必要があります。特に80歳以上の方は、結核を発症する危険性が高く、高齢になるほど咳や痰などの症状が出にくくなり、受診や診断が遅れてしまうことがあります。症状がなくても、毎年、胸部エックス線検査を受けましょう。



結核・感染症に関するお問い合わせ

下関市立下関保健所 保健医療政策課 感染症対策係 ☎083-231-1530